

「千葉大学先進科学センター創立 20 周年記念シンポジウム」開催

—飛び入学開始から 20 年、成果と今後の方向性を討論—

国立大学法人千葉大学では、17 歳から大学で学ぶ「飛び入学」のプログラム開始 20 周年を迎えるにあたり、6 月 8 日（金）、「千葉大学先進科学センター創立 20 周年記念シンポジウム」を開催します。

日本で唯一の飛び入学専門推進機関である同センターは、1998 年に現在の学制で日本初の飛び入学生を受け入れて以来、これまでに 71 名の卒業生を輩出しており、現在飛び入学を実施している 7 大学(※)の中でも卓抜した実績を積み重ねて来ました。

本シンポジウムでは、早期教育・才能教育に造詣が深い岩永雅也氏（放送大学副学長）、第 3 代先進科学センター長の金子克美氏（信州大学特別特任教授）、飛び入学第 7 期生の大木健氏（海洋研究開発機構技術研究員）をお招きしてご講演いただくとともに、飛び入学開始から 20 年間の成果と今後の方向性を討論します。

※千葉大学・名城大学・エリザベト音楽大学・会津大学・日本体育大学・東京藝術大学・京都大学

■開催概要

【日時】平成 30 年 6 月 8 日（金） 13:30-17:00 （受付開始 13:00）

【場所】千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館 大ホール

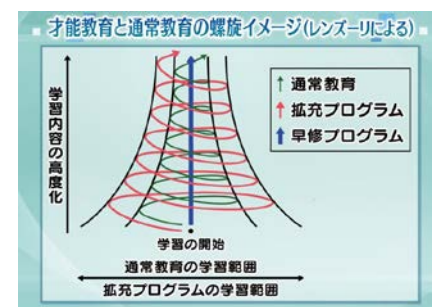
【プログラム】

第一部 講演

- 13:30- 学長挨拶 徳久 剛史 千葉大学長
 13:35- 来賓祝辞 八島 崇 氏 文部科学省高等教育局大学振興課 課長補佐
 13:40- 基調講演
大学飛び入学—日本型エンリッチ・モデルの挑戦—
 岩永 雅也 氏 放送大学 副学長
 14:10- **先進科学センターの現状報告**
 高橋 徹 千葉大学先進科学センター長
 14:30- **挑戦する科学と遊び心**
 金子 克美 氏 信州大学 特別特任教授
 （千葉大学名誉教授、第 3 代先進科学センター長）
 14:50- **未知の海底をロボットで探る**
 大木 健 氏 海洋研究開発機構 技術研究員
 （先進科学プログラム 第 7 期生）

第二部 討論

- 15:20- **「20 年でできたこと、できなかったこと」**
 モデレーター：花輪 知幸
 千葉大学先進科学センター 教授
 16:05- **「入試状況の変化と今後の展望」**
 モデレーター：音 賢一
 千葉大学先進科学センター 副センター長
 パネリスト：岩永 雅也 氏(前出)
 ／金子 克美 氏(前出)／大木 健 氏(前出)
 ／高橋 徹(前出)
 16:55- まとめ



基調講演資料より

千葉大学における飛び入学の歩み

1998 年	応用物理学関連分野で募集開始（工学部の一部、理学部物理学科）、1 期生が入学
2001 年	早期卒業制度導入
2003 年	物理学関連分野と工学関連分野に分離・拡充
2004 年	人間科学関連分野に拡大（文学部）
2007 年	第 1 期生博士号取得
2008 年	入学者選抜方式 II 導入
2009 年	物理化学関連分野に拡大（理学部化学科の一部）
2012 年	物理化学・生命化学関連分野に拡充
2014 年	入学者選抜方式 III（秋飛び入学）導入、1 期生が入学
2017 年	理学部、工学部、園芸学部の化学系学科・コースで受入れ拡大（5 分野 13 クラス制）
2019 年	生物学関連分野に拡大（理学部生物学科）

本件についてのお問い合わせ・取材のお申し込み

千葉大学 先進科学センター

TEL: 043-290-3521 E-mail: cfs-info@chiba-u.jp

<参考資料>

■千葉大学 先進科学プログラムについて <https://www.cfs.chiba-u.jp/>

1. 概要

千葉大学の飛び入学制度（＝先進科学プログラム）は、高校2年修了後、通常より1年早く大学に入学する機会を提供することで「若い才能」の発掘と科学者育成を促進する制度です。1998年にスタートしたこのプログラムは、これまで多くの研究者・高度専門職業人を輩出してきました。現在募集しているのは「物理学」「化学」「生物学」「工学」「植物生命科学」「人間科学」関連の6分野、言い換えると、理学部・工学部・園芸学部・文学部の4学部14クラスで実施しています。入学時期は4月と9月があり、1998年～2018年3月までの志願者は375名、合格者は90名。卒業生は71名で、そのうち61名（85.9%）が千葉大学をはじめ東京大学、京都大学などの大学院に進学しているほか、MITやラトガース大学など海外の有名大学院で学び、教員や研究者、または実業家として独り立ちするケースも増えています。

【先進科学プログラム実施分野・クラス】

分野	クラス	所属学部・学科・コース
物理学関連分野	物理学先進クラス	理学部 物理学科
化学関連分野	化学先進クラス	理学部 化学科
生物学関連分野	生物学先進クラス ※2019年度設置予定	理学部 生物学科
工学関連分野	建築学先進クラス	工学部 総合工学科 建築学コース
	都市環境システム先進クラス	工学部 総合工学科 都市環境システムコース
	デザイン先進クラス	工学部 総合工学科 デザインコース
	機械工学先進クラス	工学部 総合工学科 機械工学コース
	医工学先進クラス	工学部 総合工学科 医工学コース
	電気電子工学先進クラス	工学部 総合工学科 電気電子工学コース
	物質科学先進クラス	工学部 総合工学科 物質科学コース
	共生応用化学先進クラス	工学部 総合工学科 共生応用化学コース
	情報工学先進クラス	工学部 総合工学科 情報工学コース
植物生命科学関連分野	植物生命科学先進クラス	園芸学部 応用生命化学科
人間科学関連分野	人間探求先進クラス	文学部 人文学科 行動科学コース

2. 主な特徴

【少人数体制による独自カリキュラム】入学した学生は選んだ分野に対応する学部・学科に所属し、学部課程1年次から国際的な研究を進める第一線の教員とマンツーマンに近い環境で指導を受けられます。

【海外語学研修・海外留学】1年次または2年次の夏休みに、英語学習を目的とした約1ヶ月の海外研修を実施し、3年次以上には研究目的の海外短期留学を支援するなど、大学の費用負担による研修制度を設けています。

【早期卒業制度】学部の早期卒業や大学院へ飛び級する制度があり、最短23歳での博士号取得も可能です。

【経済的サポート】入学料は免除。選考により、授業料の全額または半額が免除される制度や、特別な奨学金制度もあります。



少人数体制の授業の様子

3. センター試験不要の入試

【春飛び入学】方式I： 「考える力」を問う計7時間半に及ぶ課題論述と提出書類＋二次面接

方式II： 千葉大学「個別学力検査（前期日程）」と提出書類＋二次面接

【秋飛び入学】方式III： 自己推薦書等の提出書類並びに課題論述＋二次面接

千葉大学先進科学センター 創立20周年記念シンポジウム

1998年に17歳の大学生が3名誕生してから20年が経ちました。

日本における「飛び入学」を中心となって推進してきた

先進科学センターも、創立20年となり、

卒業生も社会で活躍しています。

本シンポジウムでは、飛び入学募集開始から

20年間の成果についてご報告するとともに、

今後の方向性について討論します。

皆さまのご参加をお待ちしています。

Early Admission

好きな学問を

早く存分に勉強したいと思ったら—

高2、高3秋から先端の研究分野に

飛び入学

PROGRAM

第一部 講演

- 13:30 学長挨拶 徳久 剛史 千葉大学長
- 13:35 来賓祝辞 八島 崇 氏 文部科学省高等教育局大学振興課 課長補佐
- 13:40 基調講演「大学飛び入学—日本型エンリッチ・モデルの挑戦」
岩永 雅也 氏 放送大学副学長
- 14:10 先進科学センターの現状報告
高橋 徹 千葉大学先進科学センター長
- 14:30 挑戦する科学と遊び心
金子 克美 氏 信州大学特別特任教授 (千葉大学名誉教授、第3代先進科学センター長)
- 14:50 未知の海底をロボットで探る
大木 健 氏 海洋研究開発機構技術研究員 (千葉大学先進科学プログラム 第7期生)

第二部 討論

- 15:20 「20年でできたこと、できなかったこと」
モデレーター／花輪 知幸 千葉大学先進科学センター教授
- 16:05 「入試状況の変化と今後の展望」
モデレーター／音 賢一 千葉大学先進科学センター 副センター長
＜パネリスト＞
岩永 雅也 氏 (前出)／金子 克美 氏 (前出)／大木 健 氏 (前出)
高橋 徹 (前出)
- 16:55 まとめ

情報交換会

- 17:30～19:30
場所／けやき会館1階「レストラン・コルザ」
参加費／3,000円

参加無料

どなたでもご参加いただけます

日時／平成30年6月8日(金)
13:30～17:00(受付開始／13:00)

場所／千葉大学 西千葉キャンパス
けやき会館 大ホール



- JR西千葉駅より南門経由、徒歩約10分
- 京成みどり台駅より正門経由、徒歩約8分

【問い合わせ先】

千葉大学先進科学センター

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

Tel: 043-290-3521

Fax: 043-290-3523

Email: cfs-info@chiba-u.jp



Center for
Frontier
Science



CHIBA UNIVERSITY

千葉大学先進科学センター創立20周年記念シンポジウム
講演者プロフィール



岩永 雅也 氏

基調講演「大学飛び入学—日本型エンリッチ・モデルの挑戦—」

早期教育、才能教育に関する造詣が深く、世界動向にも詳しい岩永雅也氏に、世界の中での飛び入学について、大所高所から講演していただきます。

放送大学 副学長

東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。

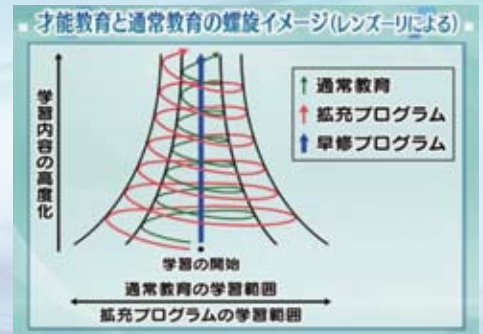
専攻は教育社会学・才能教育論・生涯学習論

著書に『創造的才能教育』（共編著 玉川大学出版部）、

『才能教育論』（共編著 放送大学教育振興会）、

『大人のための「学問のススム」』（共著 講談社）、

『生涯学習論』（放送大学教育振興会）ほか。



金子 克美 氏

現役研究者(元センター長)からのメッセージ「挑戦する科学と遊び心」

千葉大学名誉教授、第3代先進科学センター長

信州大学 先鋭領域融合研究群 環境・エネルギー材料科学研究所 特別特任教授。

平成22年3月まで千葉大学大学院理学研究科教授として、ナノ細孔空間中の分子とイオンの科学、ナノ細孔系カーボンの構造と物性研究を推進してきた。

平成22年4月からJSTの「地域卓越研究者結集プログラム—エキゾチック・ナノカーボンの創成と応用プロジェクト拠点」の特別特任教授として信州大学に赴任した。平成26年4月から現職。

講演ではナノスケールの物質界における分子やイオン達が人間社会のように“損得を考えて”振舞っていること、これらを例に科学がまだまだ完成域に達していないことを紹介する。



大木 健 氏

活躍する卒業生からのメッセージ「未知の海底をロボットで探る」

千葉大学先進科学プログラム 7期生

海洋研究開発機構(JAMSTEC) 地震津波海域観測研究開発センター 技術研究員。

2008年千葉大学工学部電子機械工学科(先進科学プログラムFTコース)卒業。

2013年、東北大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻修了、博士(工学)。

東北大学博士研究員等を経て2014年より現職。

専門は移動ロボティクス、海底ケーブルシステム。

未知の環境を移動探査ロボットで解き明かすことに興味を持つ。



©JAMSTEC

申込方法

千葉大学先進科学センターWebサイトの申込フォーム、またはメール・FAXはがきにて、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

- 件名「シンポジウム参加希望」
- 連絡事項「氏名」「所属」「電話番号」「メールアドレス」「情報交換会参加の有無」

申し込み・問い合わせ先

千葉大学先進科学センター

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

Tel: 043-290-3521

Fax: 043-290-3523

Email: cfs-info@chiba-u.jp

https://www.cfs.chiba-u.jp/



CHIBA UNIVERSITY